

四季折々の表情

旧中嶋家は四季折々の懐かしい砺波野の表情を私たちに
見せてくれます。それらは砺波野の原風景です。



夏
summer

▲ 地蔵まつり 地蔵堂屋根瓦▶

秋 autumn

▼ 紅葉と柿が色づく全景

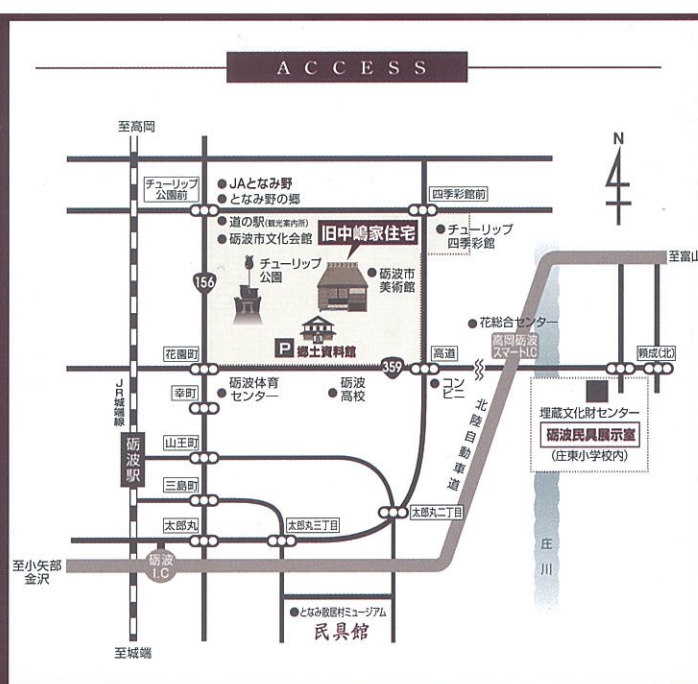


冬
winter

▲ 全景 茅葺屋根/つららがさがる▶

Events

- 春... チューリップフェア
- 夏... 地蔵まつり、たたみ干し、公園夏まつり、ほたる鑑賞
- 秋... 報恩講、お月見
- 冬... お正月準備(メ飾り・もちつき)、団子の会



文化財を大切にしましょう



※旧中嶋家住宅は通常閉館しています。
見学申込・問合せは砺波郷土資料館へ。

砺波郷土資料館

〒939-1382 富山県砺波市花園町1番78号
〔砺波チューリップ公園内〕
TEL:0763-32-2339 FAX:0763-32-2436
E-mail:shiryokan@city.tonami.lg.jp



チューリップフェア(4月下旬)

INFORMATION

開館時間 9:00~17:00
休館日 毎週月曜日/祝日/毎月第3日曜日/12/29~1/3
(月曜日祝日の場合、月・火曜日連休)
入館料 無料
交通機関 砺波駅南口より徒歩15分/砺波ICより車で5分
駐車場有り(8台分)

かやぶ 砺波平野の茅葺き民家



旧中嶋家住宅

— 砺波市指定文化財 —

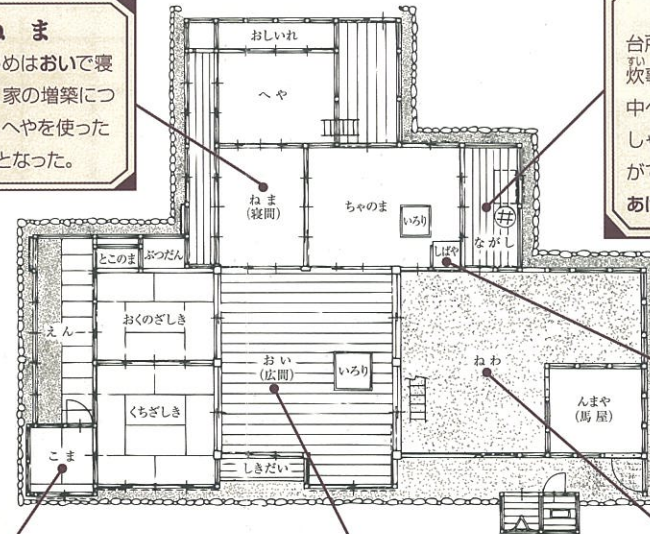
THE NAKASHIMA HOUSE



旧中嶋家住宅平面図

ねま
しんじつ
 寝室。はじめはおいでで寝ていたが、家の増築につれてねま、へやを使った奥ずまいとなった。

ながし
 台所。その昔は家の外で炊事をしていたが、家中へ取り入れた。しゃがまずに立って調理ができるように床張りのあげながしとなった。



しばや
しば
 柴や、材木、わらなどの焚き物を入れておくところ。屋根裏のあまに保存しておき、しばやおろして使った。

こま
ざしき
 座敷の南側に設けたゆとりの小部屋で、子どもたちの勉強部屋などに利用した。

おい
おちや
 わくのうちで組んである主屋の中心のへや。ここの間口の広さで家格を示した。いらりのまわりで接客したり、ここの板の間にして農作業もしたりした。

ねわ
 玄関と同じく土に塩を混ぜて梓でつき固めた土間。雨天でも農作業やわら仕事ができたとこ。

砺波市指定文化財
きゅう なか し ま け じゅう た く
旧中嶋家住宅

指定年月日 昭和51年12月27日
 所在地 砺波市花園町4-72
 (砺波チューリップ公園内)

この建物は、もと砺波市高波の江波集落に建てられていた住宅を移築したものです。中嶋家は、代々江波村の肝煎(村長)を勤めていた家柄です。建築様式、手法、伝承などからみて18世紀末のものと考えられます。間口10間(約18.3m)、奥行3間半(約6.3m)の主屋の後ろに、3間半に4間(約7.2m)のつの屋を逆T字型に取り付けたもので、建坪は約53坪(約175m²)です。***おい**を中心に、南側に**ざしき**、北側に***ねわ**、後ろに**ちゃのま**、***ながし**、***ねま**を配しています。砺波平野における散村農家の典型的な**広間型**の間取りです。

昭和51年3月から12月にかけて移築した後、昭和55年の公園整備の際に、周囲に杉や竹などの**か**いによ(屋敷林)を植え、杉の生垣をめぐらして散村農家の景観を復元しました。

【※の説明は右の図にあります】



▲郷土の踊り「えんじやら節」



▲小学生の郷土学習の様子



▲お手玉



▲やじろべえ作り



▲いらりの火たき

旧中嶋家は、四季折々の伝統行事開催や、市民の郷土学習に利用されています。

砺波地方では「えんじやら節」と呼び、ボランティアグループ「えんなか会」が中嶋家をまわるお手伝いをされています。